聖路加国際大学
2023年度　奨学金一覧 【大学院 （看護学研究科）】

≪学内の給付奨学金≫

1. 青木奨学金 ・・・・・ 1
2. 未来の助産師基金 ・・・・・ 1
3. 聖路加国際大学聖路加フェロー奨学金（給付奨学金） ・・・・・ 1
4. 聖路加国際大学ウパウパ奨学金 ・・・・・ 1
5. 聖路加国際大学特別奨学金 ・・・・・ 1
6. 災害特別奨学金 ・・・・・ 1
7. 聖路加同窓会奨学金 ・・・・・ 1

≪学内の貸与奨学金≫

8. 聖路加国際大学貸与奨学金 ・・・・・ 2
9. 聖路加国際大学聖路加フェロー奨学金（貸与奨学金） ・・・・・ 2

≪学外の給付奨学金≫

10. 有馬育英会助産師育成支援事業 ・・・・・ 2
11. 丸和育志会奨学金 ・・・・・ 2
12. 守谷育英会奨学金 ・・・・・ 2
13. 中部（ナカベ）奨学会奨学金 ・・・・・ 2
14. 米濵・リンガーハット財団奨学金 ・・・・・ 3
15. 大学女性協会国内奨学金（一般奨学生） ・・・・・ 3
16. 長谷川財団奨学金 ・・・・・ 3
17. アドヴァン山形育英会奨学金 ・・・・・ 3
18. 小倉一春大学院教育（国際看護）奨学金 ・・・・・ 4
19. 渥美国際交流財団奨学金 ・・・・・ 4
20. 中島健吉記念奨学金 ・・・・・ 4
21. 朝鮮奨学会奨学金 ・・・・・ 4

≪学外の貸与奨学金≫

22. あしなが奨学金 ・・・・・ 5
23. みずほ育英会奨学金 ・・・・・ 5
24. 日本学生支援機構 ・・・・・ 5
25. 東京都看護師等修学資金 ・・・・・ 6
26. 交通遺児育英会奨学金 ・・・・・ 6

※こちらは2023年度の実績となります。
申請する年度により募集内容が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

聖路加国際大学
2023年度　奨学金一覧【大学院（看護学研究科）】

≪学内の給付奨学金≫

1	青木奨学金	出願資格	修士課程の看護学専攻またはウィメンズヘルス・助産学専攻の第2年次に在籍する学生で、将来、助産師として実践で活躍する、あるいは助産教育・研究に携わることを目指す人材			
		対象者	看護学研究科修士課程の看護学専攻または ウィメンズヘルス・助産学専攻2年生	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
		金額	年額　300,000円	採用人数	3名程度	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

2	未来の助産師基金	出願資格	修士課程のウィメンズヘルス・助産学専攻（上級実践コース）の第2年次に在籍し、助産師の資格取得を目指す学生で、給付を申請した者			
		対象者	修士課程ウィメンズヘルス・助産学専攻（上級実践コース）2年	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
		金額	年額　50,000円	採用人数	制限なし	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

3	聖路加国際大学 聖路加フェロー奨学金 （給付奨学金）	出願資格	本学学部卒業生のうち、看護職として勤務している医療機関等を休職又は退職して進学した者			
		対象者	看護学研究科修士課程の学生	期間／回数	2年間	
			年額　600,000円	採用人数	2名まで	他の奨学金等との併用
		家計基準	なし	成績基準	なし	可能

4	聖路加国際大学 ウパウパ奨学金	出願資格	大学院修士課程に在籍する学生で、「生と性に関する教育」に関心を持って活動・研究に携わることを目指す人材			
		対象者	大学院修士課程に在籍する学生	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
		金額	年額　100,000円	採用人数	2名程度	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

5	聖路加国際大学 特別奨学金	出願資格	本学看護学研究科及び公衆衛生学研究科に入学を許可された学生で、以下のいずれかの条件を満たす者 ①本学学部を卒業した者 ②本学大学院博士前期課程を修了した者 ③本学大学院専門職学位課程を修了した者 ④学校法人聖路加国際大学の正規職員として3年以上の勤務経験を有する者			
		対象者	本学大学院博士前期課程、博士後期課程及び専門職学位課程の学生	期間／回数	原則として入学年度のみ 在学中1回限り	他の奨学金等との併用
		金額	年額　400,000円	採用人数	制限なし	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

6	災害特別奨学金	対象者	災害救助法が適用された地域で被災された学生及び保証人			
		金額	被災状況に応じて授業料1年分または 半期分相当の奨学金	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
				採用人数	制限なし	可能

7	聖路加同窓会奨学金	出願資格	聖路加国際大学に在学している学部あるいは大学院学生で、将来母校を大切にし、看護を通して社会に貢献したいと学業に励む志をもつ者			
		対象者	学部生・大学院生	期間／回数	在学中1回限り	他の奨学金等との併用
		金額	年額　200,000円	採用人数	学部生1名・大学院生1名	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

≪学内の貸与奨学金≫

8	聖路加国際大学貸与奨学金	出願資格	学業成績優秀にして修学上経済的に困難な者			
		対象者	学部生・大学院生	期間／回数	最短修業期間	
		金額	修士課程：月額　50,000円	採用人数	年度毎に定める	他の奨学金等との併用
			博士後期課程：月額　100,000円	利息	無利子	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

9	聖路加国際大学聖路加フェロー奨学金（貸与奨学金）	出願資格	聖路加国際病院に勤務する看護師のうち、休職して進学した者（要上長の推薦状）			
		対象者	看護学研究科修士課程の学生	期間／回数	2年間	
		金額	年額　1,200,000円	採用人数	若干名	他の奨学金等との併用
		家計基準	なし	成績基準	なし	不可能
		返還免除・猶予	修了後、聖路加国際病院に復職した場合には、勤務し続ける期間所定の手続きを経ることで貸与奨学金の返還の猶予を受けることができる。復職後引き続き4年間勤務した場合は貸与奨学金の返還債務を免除する			

≪学外の給付奨学金≫

10	有馬育英会助産師育成支援事業	出願資格	助産師の国家資格を目指す学生で、看護師の資格を有する者及び同一年度内に看護師資格、助産師資格の取得を目指し、学校長等から推薦された学生			
		対象者	修士課程2年生	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
		金額	年額　100,000円	採用人数	1名	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

11	丸和育志会奨学金	出願資格	社会に貢献する高い志を持ち、将来の日本と世界を担う人材の育成を図る。特に『人間の心身の健康』（個人・組織・社会の健康・健全性の実現）に関係する知識・知性の獲得と行動意欲を持ち、原則として日本国籍を有する学生			
		対象者	修士課程1年生	期間／回数	1年間	他の奨学金との併用
		金額	年額　500,000円	採用人数	16名（学部含む）	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

12	守谷育英会奨学金（モリタニ）	出願資格	東京都内の高校・高専・短大・大学・大学院に在学、または東京都内に居住し高校・高専・短大・大学・大学院に在学している学生生徒で、学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者			
		対象者	大学生・大学院生	期間／回数	最短修業期間	他の奨学金等との併用
		金額	月額　150,000円	採用人数	全国で約80名	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

13	中部奨学会奨学金（ナカベ）	出願資格	人物・学業ともに特に優れ、かつ健康であり、経済的理由により就学が困難な人で、学長の推薦による人			
		対象者	学部生・大学院生	期間／回数	最短就学期間	他の奨学金との併用
		金額	修士課程：支給・貸与共に月額60,000円	採用人数	修士課程：支給2名　貸与4名（本学の推薦枠ではない）	可能
			博士課程：支給月額60,000円		博士課程：支給6名（本学の推薦枠ではない）	
		家計基準	なし	成績基準	なし	

14	米濵・リンガーハット財団奨学金	出願資格	①鳥取県・長崎県内の大学（2～4年生）・大学院に在籍する者及び鳥取県・長崎県内の高等学校等を卒業し、他都道府県の大学（2～4年生）・大学院に在籍する者 ②出願する年度の4月現在、大学（2～4年生）、大学院博士前期（修士）課程・博士後期課程に在学する者 ③申込前年度末の時点で、原則として大学生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること 留学生の場合、原則として大学生は満31歳以下、大学院生は満38歳以下であること ④在学する学長、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者 ⑤学費の支弁が困難と認められる者 ⑥心身ともに優れている者			
		対象者	鳥取県・長崎県内高等学校を卒業した大学院生（博士前期（修士）課程） 鳥取県・長崎県内高等学校を卒業した大学院生（博士後期課程）	期間／回数	最短修業年限	他の奨学金等との併用
		金額	月額　20,000円	採用人数	10名（本学の推薦枠ではない）	可能
		家計基準	給与所得世帯：世帯合計所得600万円未満 自営業などその他の所得340万円未満	成績基準	原則前年度までの成績（GPA）が 3.00以上の者	

15	大学女性協会国内奨学金（一般奨学生）	出願資格	・文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、学業・人物ともに優れた者 ・在籍年数に休学期間は含まず、募集年の次の年の2月末日に在籍であること ・経済的理由は一切問わない			
		対象者	院在籍1年以上の女子学生。博士課程後期1年在籍者は修士修了と同じ扱いとし、要件を満たすものとする	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
		金額	年額　200,000円	採用人数	6名（本学の推薦枠ではない）	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

16	長谷川財団奨学金	出願資格	日本国内の大学及び大学院において就学する者で、学業意欲旺盛、品行方正、健康でありながら、経済的理由等により就学困難な学生及び生徒			
		対象者	大学生・大学院生	期間／回数	正規の課程修了日まで	他の奨学金等との併用
		金額	月額　30,000円	採用人数	18名（本学の推薦枠ではない）	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

17	アドヴァン山形育英会奨学金	出願資格	①東京都内の大学、大学院、専門学校等に通う学生であること ②学業優秀、品行方正、心身共に健康である方で、自らの夢や目標に向けて学ぶ意欲がありながらも経済的支援を必要とする方 ③全学年を対象とする ④年齢は4月1日現在で29歳以下とする ⑤所得制限なし ⑥貸与型奨学金/国、地方自治体、日本学生支援機構の給付型奨学金及び大学独自の給付型奨学金との併用は可。民間の給付型奨学金との併用は不可			
		対象者	学部生・大学院生	期間／回数	1年間	他の奨学金との併用
		金額	月額　30,000円	採用人数	13名程度（本学の推薦枠ではない）	可能 出願資格⑥の記載を確認のこと
		家計基準	なし	成績基準	なし	

18	小倉一春大学院教育（国際看護）奨学金	出願資格	下記全ての要件を満たしていること ①保助看法による保健師・助産師または看護師の免許を有し、心身ともに健全なこと ②看護系大学大学院において国際看護を専攻していること ③国際看護に関する教育研究あるいは臨床を通して看護の実践に貢献できること ④日本国籍がない場合、在留資格が「法定特別永住者」「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」のいずれかであること			
		対象者	大学院生（博士前期課程・後期課程）	期間／回数	1回	他の奨学金等との併用
		金額	年額　600,000円	採用人数	6名（本学の推薦枠ではない）	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

19	渥美国際交流財団奨学金	出願資格	下記の資格すべてに該当すること ①日本の大学院の博士課程に在籍し、支給期間中に博士号を取得する見込みのある者。 正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として 日本の大学院に在籍する者も含む ②奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある者 ③国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある者 ④日本語が堪能な者（応募書類と面接はすべて日本語だけ）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいが条件ではない ⑤奨学金受給期間に正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない者（月額100,000円以上）			
		対象者	大学院博士課程に在籍する留学生および日本人学生	期間／回数	1年間	他の奨学金等との併用
		金額	月額　250,000円	採用人数	16名、そのうち日本人は5名まで（本学の推薦枠ではない）	可能 月額10万円以上は不可
		家計基準	なし	成績基準	なし	

20	中島健吉記念奨学金	出願資格	①応募時に日本の大学に在籍する外国籍を有する学生で、当該年4月に応募時と同じ大学の正規課程に在籍予定の者 ②在留資格が「留学」である者			
		対象者	大学院生	期間／回数	1年間	他の奨学金等との併用
		金額	月額　150,000円	採用人数	大学院学生：40名 （本学の推薦枠ではない）	不可能 月額3万円以下は可
		家計基準	なし	成績基準	なし	

21	朝鮮奨学会奨学金	出願資格	①日本の大学院（博士課程・修士課程・専門職課程。通信課程は除く）に在籍している韓国人・ 朝鮮人学生（特別永住者証明書・在留カード・外国人登録証の国籍表示が韓国もしくは朝鮮）本国からの留学生含む ②成績が優良で学費の支弁が困難な者 ③当該年4月1日現在、満40歳未満の者（継続応募者は除く） ④3年制修士課程においては2学年以上の者。 ⑤日本学術振興会の特別研究員及び次世代研究者挑戦的研究プログラムの受給者は応募できない			
		対象者	大学院（博士課程・修士課程・専門職課程）に在籍する韓国人・朝鮮人学生	期間／回数	1年間/2年間まで継続申請可能	他の奨学金等との併用
		金額	修士課程・専門職課程：月額　40,000円 博士課程：月額　70,000円	採用人数	110名 （本学の推薦枠ではない）	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

≪学外の貸与奨学金≫

22	あしなが奨学金	出願資格	保護者が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、又は保護者が1級から5級の障害認定（注1）を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども （注1）次の障害認定を受けている場合をいいます 身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、労働者災害補償保険法に定める第1級から第5級 ※申請時の年齢が25歳以上の場合は、奨学生の対象となりません				
		対象者	大学奨学生だった者で、大学院の1学年に在学している者	期間／回数	最短修業年限	他の奨学金等との併用	
		金額	月額　80,000円	採用人数	15名（本学の推薦枠ではない）	可能	
				利息	無利子		
		家計基準	なし	成績基準	なし		

23	みずほ育英会奨学金	出願資格	①日本国民にして資質並びに学業成績優秀で且つ健康な学生であること ②経済的理由により学資の援助を必要とする者 ③在学する大学によって推薦された者			
		対象者	大学生・大学院生	期間／回数	最短修業期間	
		金額	月額　60,000円	採用人数	若干名	他の奨学金等との併用
				利息	無利子	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	

24	日本学生支援機構	出願資格	高度の研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる人。日本学生支援機構による家計・学力などに従い学内審査の上、推薦					
		対象者	大学院生			期間／回数	最短修業期間	
		金額	第一種	修士・専門職	月額　50,000円・88,000円	採用人数	制限なし	他の奨学金との併用
				博士	月額　80,000円・122,000円			可能
			第二種	修士・専門職	月額　50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円	利息	第一種：無利子	
				博士			第二種：有利子	
		家計基準	修士課程・専門職大学課程⇒本人の収入と配偶者の定職収入の金額の合計が、第一種は299万円以下、第二種は536万円以下					
			博士課程⇒本人の収入と配偶者の定職収入の金額の合計が、第一種は340万円以下、第二種は718万円以下					
		成績基準	修士・専門職課程⇒一種：大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。					
			二種：①か②に該当する者。①大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。					
			博士課程⇒一種：大学・大学院等における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。					
			二種：①か②に該当する者。①大学・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。					

25	東京都看護師等修学資金	出願資格	①保健師、助産師、看護師及び准看護師の養成施設又は大学院修士課程に在学していること ②成績優秀にして、かつ、心身健全であること ③経済的理由により修学困難であること。所得制限はないが、予算枠を超過する数の申込があった場合、所得の低い者から優先的に貸与する ④東京都育英資金及び地方公共団体による返還免除規定のある修学資金など、同種の修学資金を借り受けていないこと。日本学生支援機構との併用は可能 ⑤卒業又は修了後、都内施設又は指定施設において看護業務に従事する意思を有すること			
		対象者	大学院修士課程	期間／回数	最短修業期間（最長2年間）	
		金額	月額　25,000円・50,000円・75,000円・100,000円のうちいずれか一口	採用人数	制限なし	他の奨学金等との併用
				利息	無利子	可能 出願資格④の記載を確認のこと
		家計基準	なし	成績基準	なし	

返還の猶予　例）

貸与月額	猶予の要件	猶予額	免除の要件	免除額
25,000円	都内施設従事	25,000 円×貸与月数	都内施設に5年間従事	25,000 円×貸与月数
50,000 円	指定施設従事	50,000 円×貸与月数	都内施設に5年間従事	50,000 円×貸与月数
	都内施設従事	25,000 円×貸与月数	都内施設に5年間従事	25,000 円×貸与月数 （※25,000 円×貸与月数分は返還）

26	交通遺児育英会奨学金	出願資格	保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な生徒・学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含む（申込時25歳までの者）			
		対象者	大学院に在学している学生	期間／回数	最短修業年限	
		金額	月額　50,000円・80,000円・100,000円から選択（うち20,000円は給付）	採用人数	20人	他の奨学金等との併用
				利息	無利子	可能
		家計基準	なし	成績基準	なし	